

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健所費 目：保健所費

事業名 結核接触者健康診断及び管理検診委託事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,809 千円 (前年度予算額： 7,276 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,276	3,638	0	0	0	0	0	0	3,638
要求額	21,809	10,904	0	0	0	0	0	0	10,905
決定額	21,809	10,904	0	0	0	0	0	0	10,905

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内では、令和6年に196人の結核新規患者が発生し、罹患率も10.2と全国平均(8.0)より高くなっており、結核の制圧に向けて継続した努力が求められている。

結核のまん延を防止するために必要な対策の一つとして、結核患者との接触者への健康診断及び結核登録者の管理検診を適切に実施し、結核の早期発見・早期治療につなげることがあげられる。

(2) 事業内容

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に基づき、結核患者との接触者への接触者健康診断及び結核登録患者の管理検診を実施し、感染者の早期発見と早期治療により結核の感染拡大を防止する(感染症法第17条、第53条の13)。

1. 結核登録患者の管理検診(感染症法第53条の13)

保健所は結核患者と結核回復者(治療終了から2年以内の結核を再発しやすいとされている者)に対する管理検診を医療機関にて実施する。

- ・ 検診内容：胸部X線検査又は喀痰検査による病状把握
- ・ 検診回数：年2回

2. 患者の接触者の健康診断(感染症法第17条)

結核患者が発生した場合、感染源や感染経路を確認し、感染拡大を防止する目的で接触者(家族等)に対する検診を契約の医療機関にて実施する。

- ・ 検診内容：IGRA検査又は胸部X線検査
ツベルクリン反応検査(BCG未接種者)
- ・ 検診回数：接触による感染が疑われる際に1回もしくは2回

(3) 県負担・補助率の考え方

負担区分及びその財源 国 1 / 2、県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	75	業務旅費
需用費	788	健診に用いる消耗品、ガソリン代、受診票の作成代
役務費	899	接触者、管理検診対象者への郵便、電話代
委託料	20,047	医療機関への委託料
合計	21,809	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画
岐阜県感染症予防計画
岐阜県結核予防業務指針

(2) 国・他県の状況

近隣6県（富山、石川、福井、静岡、三重、愛知）のうち5県（三重を除く）が医療機関に検査を委託している。

(3) 後年度の財政負担

保健所のレントゲン機器が老朽化しており、機器を更新するより検査を外部委託する方が費用が安価で済むため、財政負担の軽減が見込まれる。

(4) 事業主体及びその妥当性

接触者健康診断及び管理検診の検査を医療機関へ委託することで、対象者の受診先の拡大につながり、対象者の健診等受診率の向上を図り、結核の感染拡大防止に高い効果が期待できる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
結核感染・発症している患者を早期発見・早期治療し、結核の感染拡大を防止する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R-)	達成率
人口10万人当たり結核罹患率		10.2	7.0以下	7.0以下	7.0以下	68.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	日本の結核罹患率は、2021年に9.2と結核低蔓延国の水準(罹患率10.0以下)を達成し維持している。しかし、県内では196人の新登録患者が発生しており、罹患率も10.2、全国ワースト4位と非常に高い状況にある(R6)。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	結核罹患率は令和5年は9.1と低蔓延国の定義である罹患率10以下となったが、外国出生者の結核患者の割合が増加しており、令和6年は10.2と上昇した。接触者健診・管理検診の実施によって、感染者や発病者を早期に発見し、さらなる感染拡大の防止を図る必要がある。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	令和7年度から、飛騨保健所、関保健所が接触者健診・管理検診の医療機関委託に全面移行し、岐阜保健所、西濃保健所で胸部X線検査について委託に移行している。令和8年度以降は全ての保健所で医療機関委託に移行し、適切に接触者健診・管理検診が実施できるようにしていく。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後は高齢化の進展に伴う高齢者の発病及び外国人労働者の増加に伴う外国出生者の発病がさらに増加することが危惧され、治療中断等による多剤耐性結核菌の発生や重度の合併症など、治療の困難な事例の増加が予想される。適切に接触者健診・管理検診を実施し、感染者・発病者の早期発見・早期治療につなげていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和8年度以降は、全ての保健所で接触者健診・管理検診を医療機関へ委託して実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	